

基本計画の推進に当たって（抜粋）

基本計画に定める施策の推進に当たり、基本的な方針を次のとおり定めます。

（１）協働によるまちづくり

シビックプライドの醸成

市民一人ひとりが、シビックプライド^{注1}を持つことは、協働によるまちづくりを進めるに当たっての根源となる重要な要素であるとともに、市外の多くの人への魅力の発信にもつながり、関係・交流人口の拡大を通じた新たな担い手の掘り起こしに寄与します。

こうしたことから、自らの意思による自発的なまちづくりへの参加が促進されるよう、シビックプライドの醸成が図られる取組を推進します。

協働による施策の推進

協働による施策を推進するためには、市民と市が相互に理解し合い、目的や役割分担を共有し、対等な関係の下、自主的に行動することが大切であり、こうした考えの下、市民の力を最大限に生かした創意と工夫があふれる皆で担う社会の実現に向けた取組を推進します。

多様な主体のまちづくりへの参加と主体間の連携の推進

市政情報を積極的・効果的に発信するとともに、市民と行政の対話の機会を充実させることにより、市政への積極的な市民参加を促進します。

また、まちづくりを担う様々な主体が、皆で地域を支え合う意識の下に、更なる連携・協働を進め、「協働によるまちづくり」を推進します。

注1 シビックプライド：

市民が都市（まち）に対して持つ「誇り」や「愛着」や「共感」のことで、まちをより良い場所にするために関わっているという意識を伴う、ある種の当事者意識に基づく自負心のこと

出典：読売広告社都市生活研究所『シビックプライド - 都市のコミュニケーションをデザインする』 -